

心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心臓リハビリテーションによるADL改善に対するポリファーマシーの影響

*ポリファーマシーとは必要以上にたくさんの薬を服用してしまうことです。ポリファーマシーでは、薬同士が影響しあって、思わぬ問題を引き起こしてしまうことがあります。

[研究機関] 大分岡病院 薬剤部

[研究責任者] 赤嶺 侑佳（薬剤師）

[研究の目的] 心不全患者におけるポリファーマシーが心臓リハビリテーションの効果に与える影響を検討することで、ADL改善を促進する新たな知見を提供することを目的としています。

[研究の方法] 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。

1、対象となる患者さん

2023年4月1日～2024年3月31日までに、入院中に心臓リハビリテーションを受けた患者さん

2、予定対象症例数 300例

3、調査項目

年齢、性別、BMI、クリニカルシナリオ、手術の有無、入院期間、退院先、併存疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能障害、心房細動、脳血管疾患、認知症）、血清総蛋白、血清アルブミン、総コレステロール、血清クレアチニン、eGFR、リンパ球数、血清ヘモグロビン、BNP、左室駆出率、服用薬剤数、服薬薬剤の薬効分類、潜在的に不適切な薬剤、服薬薬剤の総コリン負荷、リハビリ開始までの日数、機能的自立度評価表

4、調査実施期間 2025年1月15日～2025年3月31日

[試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法]

他の機関への試料・情報の提供はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[患者さんの費用負担について]

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

[利益相反について]

この研究は特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人との関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。



[研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。
調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

[問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 赤嶺 侑佳

電話 097-522-3131 (病院代表) 平日：午前9時～午後5時